

曲目解説

各校顧問の練りに練った選曲により、毎回充実したプログラムで注目を集めているジョイントコンサート。私が曲目解説を書くのも、早いもので10回目となりました。今回も新作、話題作が目白押しなので気合いを入れて解説を書きます。演奏曲数が大変多いため、各校演奏・学年バンド演奏のみの紹介です。

各校演奏

G線上のアリア

Air on the G String

ヨハン・セバスチャン・バッハ

J.S.Bach (1685-1750:ドイツ)

バッハは西洋音楽史において最も偉大な作曲家の1人である。1722年作曲の「管弦楽組曲第3番」第2曲「Air」は、A.ウィルヘルミ(1845-1908)により、1871年にヴァイオリンのG線だけで演奏できるように移調編曲された。その際に「G線上のアリア」と名付けられ、これが愛称として定着した。バッハの膨大な作品群の中で最も親しまれている作品の1つである。

マジック・スライド

Magic Slides

ウィム・ラーゼロムス

Wim Laseroms (b.1944:オランダ)

オランダのラーゼロムスによる、3本のトロンボーンとバンドのための軽快で華やかな曲。トロンボーンはスライドを動かして演奏する楽器で、それを演奏する姿は大変ダイナミックである。その楽器特性も視覚的効果として加わり、聴いても見ても楽しめる曲となっている。

雲のコラージュ

Clouds in Collage

榎田朕之扶

Tetsunosuke Kusida (b.1935:日本)

吹奏楽界の夏の風物詩(?)、「全日本吹奏楽コンクール」大編成A部門では、自由曲の他に4曲(または5曲)の課題曲の中から1曲を演奏するルールになっている。1993年作曲「雲のコラージュ」は、1994年課題曲として多くの団体に演奏された。なお、この年は課題曲(饗応婦人)が稀にみる超難曲で、それを避けて課題曲を選曲した団体も多かったと思う。

榎田朕之扶は京都の邦楽の家に生まれ育ち、作風は伝統的な邦楽を基調とした路線に徹底している。この「雲のコラージュ」は、自然の中で雲はどこでも見られるが、見る人それぞれ思い描くものは異なるもの。大空に浮かぶ雲の姿や、刻々と変化していく様子を色彩的に捉えた作品である。イメージ作りは奏者に委ねられている。今日の演奏はどんな雲だろうか。

ナイト・アンド・デイ

Night and Day

コール・ポーター

Cole Porter (1891-1964:アメリカ)

ポーターは1920-60年代に、ミュージカルや映画音楽で大活躍した作曲家である。この曲は数々のヒット作を残したポーターの名作で、1932年公開のブロードウェイミュージカル「陽気な離婚」のナンバーである。物語はイギリス人小説家が海辺のリゾートに出かけ、離婚を控えた女性と出会い、恋に落ちるというラブ・ロマンスである。「昼も夜もただあなた一人を想う。近くにいても遠く離れていても…」と歌い踊り、彼女の心をつかむ。1946年にポーターの伝記映画「ナイト・アンド・デイ」でも主題歌に使われて人気再燃した。なお、ポーターの生涯を描いたミュージカル映画「五線譜のラブライター」が2004年末に公開されている。すでにDVD化されているので、彼の音楽に興味を持たれた方は、ご覧になると良いだろう。

ラザロの復活

The rasing of Lazarus

樽屋雅徳

Masanori Taruya (日本)

ヨハネの福音書(イエス・キリストの言行を記述した文書)の「ラザロの復活」のエピソードを題材として、千葉県出身の若手作曲家、樽屋雅徳が作曲した色彩豊かな作品。2004年作曲。

内容をまとめると次の通り。ラザロは MARIA、マルタ姉妹の弟。イエスは3人を愛していた。そのラザロが病気になる、姉妹はイエスに使いを出して知らせたが、イエスが到着する4日前にラザロは亡くなり、すでに洞窟の墓に葬られていた。しかしイエスの呼びかけで奇跡が起こり、ラザロは死から蘇った…。神秘的な物語を想像しながら演奏を聴いてみよう。

レッド・マシーン

The Red Machine

ピーター・グレイム

Peter Graham (b.1958:イギリス)

イギリスの作曲家グレイムは、母国で盛んなブラスバンド(金管楽器 + 打楽器)のための優れた作品を数多く作曲しており、その多くが後に吹奏楽曲にも編曲されている。数年前に作曲された「ハリソンの夢」は、難易度を示すグレードが史上初めて「7」と表記された超難曲で話題となった。グレイム作品の演奏には、高い演奏技術と充実した編成が求められる。

イギリス王室、バッキンガム宮殿から連想するもの…。真っ赤な制服を着て外周警護する近衛兵をあげる方もいるだろう。その交代儀式は観光名物にもなっている。この近衛連隊の1つにコールドストリーム近衛連隊があり、その中の音楽隊は高い演奏技術で定評がある。この作品のタイトル「レッド・マシーン」は、真っ赤な制服のコールドストリーム近衛連隊バンドによる、バッキンガム宮殿でのパレードが、機械のように正確で美しいという意味でつけられた。「速い-遅い-速い」の3部構成から成り、速い部分の細かいリズムや、中間部の緩やかで美しいメロディに注目である。2004年作曲。ちなみにグレード6。かなり手強い…。

OBバンド

4つの真理

The Four Noble Truths

フィリップ・スパーク

Philip Sparke (b.1951:イギリス)

イギリスの作曲家スパークは、近年では吹奏楽曲を多く作曲しているが、かつては母国で盛んなブラスバンド(金管楽器 + 打楽器)のための曲を中心に作曲していた。その多くは後に吹奏楽曲に編曲されており、スパーク作品は吹奏楽界でも高く支持されている。今回演奏する「4つの真理」も、2003年にブラスバンド曲として作曲され、吹奏楽曲に編曲されたものである。作品は全4曲で構成されるが、各曲は佛教の最も基本的な教えである、苦諦、集諦、減諦、道諦の4つの教えに由来する。これらの教えはストレスや悲しみなどを表現しており、初めの2曲(苦諦、集諦)は速い曲でストレスの原因を説明し、残りの2曲(減諦、道諦)はテンポを落として、我々がどうしたらストレスから開放されるか説明している。西洋音楽で佛教の教えはどう表現されるか注目してみたい。最後は堂々としたクライマックスで盛り上がる。

ゲスト演奏

トロンボーンアンサンブル なかじ〜ず

演奏曲目についてはプログラムをご覧ください

1年生合同バンド

Las Bolas Grandes (ラス・ポラス・グランデス)

Las Bolas Grandes

八木澤教司

Satoshi Yagisawa (b.1975:日本)

八木澤教司さんは市川市在住の若手作曲家で、管弦楽曲、吹奏楽曲、アンサンブル曲など幅広いジャンルの作品を手掛けている。2002年作曲の「吹奏楽のための音詩～輝きの海へ」は、これを委嘱した市川市立新浜小学校吹奏楽部によってコンクールで演奏され、同吹奏楽部は平成14年度の「文部科学大臣奨励賞」を受賞、八木澤作品が全国に広く知られるきっかけとなった。全国からの作曲依頼も多いが、市川市民ミュージカル「いちかわ・真夏の夜の夢」の音楽担当(2002年)など、地元でも活躍している。また、市川西高校吹奏楽部のために「ザ・ウエスト・シンフォニー」(全4楽章)を4年計画で作曲中で、3つの楽章が完成済み、2006年3月に全曲完成の予定である。次々と新作を発表しており、その創作意欲は衰えを知らない。

今回演奏する「Las Bolas Grandes」は陸上自衛隊東部方面音楽隊委嘱による2005年新作。委嘱団体以外では、まだほとんど演奏されていない注目作である。八木澤さんの解説より...

Las Bolas Grandes(ラス・ポラス・グランデス)とは、1930年代の初めに中米コスタリカのジャングルで発見された謎の石球のことで、大きさはテニスボール程度から、2.6メートルに達するものまで100種類以上である。現代でもこの精密な石球を造るのは高度な技術を必要とされるが、驚くことに制作推定年代は西暦300年～800年頃とされ、更にそれらは一直線上に並んでいたり、幾何学模様配置されていたり何らかの意図があったと考えられる。しかしながら石球の中に黄金が隠されているという俗説が浮上したことにより、数多くが破壊されたり、移動されたので今となっては謎を解き明かすことは不可能となった。当作品は「石球は地球と他の惑星との位置関係を示すものではないか」という最も神秘的な学説をテーマに作曲されている。

(作曲家・八木澤教司のホームページ <http://www.horae.dti.ne.jp/~yagisawa/home/>)

エル・カミーノ・レアル

El Camino Real

アルフレッド・リード

Alfred Reed (1921-2005:アメリカ)

吹奏楽界の巨匠、リード博士が9月17日に他界した。84年の生涯で5つの交響曲、7つの組曲など大作も含めて数多くの優れた吹奏楽曲を作曲し、近代吹奏楽の発展への貢献は計り知れない。国内の音楽大学で教鞭をふるったこともあり、日本のバンドからの委嘱作品も数多い。今年6月に来日した際には、松戸市にある一般楽団で客演指揮を務め、このジョイントコンサートに出演している生徒たちの中にも、その演奏を聴いたメンバーも居るものと思われる(私も聴きに行きました)。今回は追悼としてリード博士の代表作を1曲演奏したい。

この曲は、スペインのフラメンコのリズムが使われ、曲は「急-緩-急」の形式で展開される。短い序奏に続いて熱狂的な舞曲が始まり、中間部は哀愁に満ちたオーボエが、失った恋人をしのぶ歌を奏で、悲しみは次第に大きな歌へと発展する。後半はこれまでの悲しみを大きな喜びのなかに包み込み、熱狂的なエンディングへ突き進む。1985年作曲。まさに名曲である。

コパカバーナ

Copacabana

バリー・マニロウ

Barry Manilow (b.1946:アメリカ)

タイトルの「コパカバーナ」は、ブラジル第二の都市、リオネジャネイロにあるリゾートビーチの名前である。語源については諸説あるらしい。マニロウは、アメリカ音楽界のスーパースターとして、現在も活躍中のアーティストである。この手の作品は、曲の背景などを考えるより、純粹に南米系の陽気なラテンリズムをお楽しみ頂きたい。例年、1年生合同バンド1曲目で演奏されていたポップスだが、今回は1年バンドの最後を飾る。お楽しみに。

2年生合同バンド

マーキュリー

Mercury

ヴァンデルローストは、母国のレマンズ音楽院で教授職を務め、後進の育成に務める傍ら、作曲活動を行っている。世界中の団体から作曲依頼があり、数年先まで予定が埋まっているほどで、吹奏楽界で最も人気がある作曲家の1人と言って良いだろう。難度の高い交響曲から、中高校生でも十分に演奏可能なものまで幅広くあり、高く評価されているものが多い。

今回演奏する「マーキュリー」は、伝統的な響きを持ったマーチで、1990年作曲。ヴァンデルローストにとっては比較的初期の作品である。2年生合同バンドでは「アルセナール」、「ヘリオス」に続いて、3年連続でヴァンデルローストのマーチを1曲目で取り上げてみた。

ヤン・ヴァンデルロースト

Jan Van der Roost (b.1956:ベルギー)

マナティ・リリック序曲

Manatee Lyric Overture

シェルドンは吹奏楽を中心に、中級バンド向けの作品を多く手掛けている。アメリカでは中学・高校といった、学校単位のバンドはあまり存在せず、地域の合同バンドで活動する機会が多いため、比較的簡単な書法で書かれながら、高い演奏効果が得られる作品が多く存在する。近年、高難度の作品が好まれる傾向にあるため「比較的簡単」=「つまらない」といった誤解も多いが、中級バンド向けの作品は、素敵な旋律を持つものが多く、観客受けも良い。

この「マナティ・リリック序曲」は、フロリダ州マナティの高校選抜バンドのために1985年に作曲された。この町に建設されたシビック・センターのオープンを祝ったものである。輝かしい序奏部で始まり、木管コラール風の美しいメロディが続く。中間部は速度を緩めて、大変美しく歌われる部分で広い空間を感じさせる。次第に楽器を増しながら力を取り戻し、力強く堂々としたエンディングへと突き進む。少し前の作品だが、今でも十分通用する秀作。

ロバート・シェルドン

Robert Sheldon (b.1954:アメリカ)

交響組曲第7番「BR」より

From 7e.suite Symphonique "BR"

2000年公開の映画「バトルロワイヤル」は、新世紀教育改革法(BR法)によって無人島に連れてこられた中学3年生のクラスメイト42名が、最後の1人になるまで殺し合うという過激な内容。高見広春の原作小説は、第5回ホラー大賞(1998)の最終選考に残りながら、審査員全員から「非常に不愉快」などの批判を浴びたが、刊行と同時に賛否両論の嵐を巻き起こした。故・深作欣二監督がメガホンを握り映画化に成功。映倫からR-15指定、国会議員から「くだらない映画」発言などが飛び出すなど話題になったが、現代社会に疑問を投げかける作品として圧倒的な衝撃を与え、高い評価を得た。この音楽を担当したのが天野正道である。

天野正道は大変実績を持った作曲家で、手掛けるジャンルは幅広く、国際的な活動も展開している。自身の作品を再編集して作られた「交響組曲」は、現在第1番～第10番まであり、いずれも管弦楽曲であるが、ほとんどが吹奏楽曲にも編曲されている。3年前の第12回演奏会では、交響組曲第2番「GR」を合唱付き総勢200名で演奏して大変好評であった。そして今回は交響組曲第7番「BR」の演奏に挑戦する。全11曲、演奏時間40分の大作であるが、演奏会の性格上、一部カットして演奏する。しかし、映画の情景は出来るだけ残せるように工夫した。2年生バンド80名の若き才能が、この大作に情熱の全てを炸裂させる。最後は感動溢れる壮大なエンディングが待っている。これぞジョイント。この演奏は聴き逃さない！

天野正道

Masamichi Amano (b.1957:日本)

・「レクイエム」～プロローグ

- ・ゲーム開始
- ・施設の思い出
- ・殺戮者たち
- ・桐山の襲撃

・三村の決意

- ・幸恵と七原～毒薬
- ・教師と生徒 / ファイナルバトル

XI. 新たなる旅立ち

各曲は途切れずに演奏されます。演奏時間約22分です。